

◆地方減少、大都市に集中する人口！

少子高齢化の加速を受け、日本の人口は2008年をピークに人口減少に転じ、2010年に1億2806万人であったが2050年には9708万人となり、今世紀末の2100年には4959万人と、わずか100年で現在の40%に迄減少し、明治時代の水準にまで急減すると推測される。また、20歳～39歳の女性では2040年までに約50%が大都市に流出してしまうという推測調査が出され、今後、地方都市の衰退が懸念される。

◆2020年スーパー業界の課題と展望！

①売上高1,000億円以上のスーパーの出店拡大が起こる。②品揃えの豊富さを重視し、食の簡便化や健康を意識した商品が拡大。③PB商品の志向の強いところが伸びる。④生鮮食品は生産者からの直接仕入れが拡大。⑤高齢者やパートを積極雇用で、従業員の能力改善を進める。⑥地域環境で便宜性を優先させる小型店舗も視野に入れる⑦発注の自動化やシステム化を推進。⑧宅配サービスの充実。(買い物難民への対策)等々課題は山積しているが、地域環境と客の嗜好性など、より細やかな客との接点を重視すべきである。地産地消、高齢者対策等に注力すべきであろう。

◆高齢化社会を象徴する「フード・デザート」(食の砂漠)問題！

人口減少が加速する中、人々の平均寿命は伸び、晩婚化の進行や未婚率が上昇、人口構造が変化する。いわゆる少子化、超高齢化社会が顕著となる。近年の経済環境の急速な変化の中で、特に一人暮らしの高齢者など社会的弱者の日常生活における「食」の問題がクローズアップされている。地方都市の街中の中小スーパーが次々に閉鎖し、郊外の団地でも居住者の歯抜け状態が問題視される中、自動車等交通手段を持たない高齢者が、買い置きのレトルト食品や冷凍食品に依存し、新鮮な野菜や果物、魚、肉等を入手が困難となり、摂取できない、「フード・デザート(食の砂漠)」と言われる現象が出現しつつある。

◆加速する温暖化！ ①

今年2015年の5月までに太平洋南方の海水温の上昇を起因として、既に7つの台風が発生している。台風は年毎に数を増やし、しかも強大なものとなっている。大気と海洋の温度上昇、氷河や氷床の溶解は海水面の上昇を促し、2080年までに海水面が40cm上昇した場合数百万人と言う人々の生活が脅かされる。特に日本では熱波の頻度が高まり、集中豪雨や台風は激しくなり国民の健康、水の供給、農業生産、野生生物の生態に甚大な影響を与える。今後30年で日本近海のサンゴ礁の約30%が失われ、日本の中部以西では「米」の生産量が最大で40%減少する。また、今世紀中には地球全体の温室効果ガスが25%増加し、気温が1.1度上昇すると予測されている。年毎に桜の開花も早まり、魚種の移動も顕著に変化するものと思われる。私達の「食」への影響も拡大し、今後熱波や天候不順によっては生活への影響が懸念される。

アロンはお客様の便利を第一に考えております。



◆ 対応の良さ日本一！
アロンに聞けば何でも判る！
親切、丁寧、スピード回答！

◆ 食品容器・包装資材・総合商社 ◆

アロン・トレーディング株式会社

本社 東京都千代田区神田佐久間町1-14 ☎03-3257-1701代
仙台営業所 仙台市青葉区中央4-8-17 ☎022-211-0701代
札幌営業所 札幌市豊平区月寒西1条3-5-1 ☎011-853-2597代